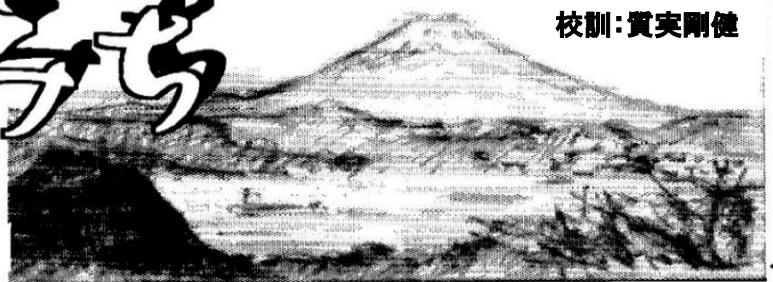


さかみち

大島町立第二中学校校報
通巻 466 号 7 月 17 日

令和8年度第 4号
校訓: 質実剛健



磨くべき力

校長 牧野英一

7月7日(火)、『みんなが先生』として株式会社東京備長の平井雄之さんを講師として招聘し、「備長炭とは」「企業した理由」「学生時代」「海外経験」など、多岐にわたり講演をしていただきました。この『みんなが先生』は、保護者や地域の方々が主体となり、「将来を考えるきっかけをつくりたい」と年2回、企画・運営されているキャリア教育の一貫です。

キャリア教育とは、将来の進路や職業選択に向け、必要な知識やスキルを学ぶ教育のことです。単に仕事を選ぶための教育ではなく、人生を豊かにするために、自分の強みを活かしながら社会と関わる力を育てることを目的としています。現代の社会では、テクノロジーの発展や働き方の多様化により、キャリアの選択肢が増えている一方、「いずれAI(人工知能)によって多くの人々の仕事が奪われる」との懸念も高まっています。

先日、2026年の東京大学と京都大学の入試問題をAIに解かせたところ、首席合格に相当する点数を取ったことが話題になりましたが、15年前の東京大学入試の突破を目指したプロジェクト『東ロボくん』を思い出します。情報技術の急速な進化には本当に驚かされますが、それ以上に、このプロジェクトを率いた国立情報学研究所長の新井紀子先生が『東ロボくん』を通して、「日本の中高生の多くが教科書を正確に読めていないことに気づかされた」と、読解力の低下を危惧しています。

AIは膨大な情報やパターン認識が得意ですが、意味を深く理解し、抽象的な違いや論理の飛躍を捉えることが苦手です。しかし、多くの中高生もキーワードを拾い読みしたり、暗記することに力を入れるため本質的な読解力が不足し、「文字が読める」＝「文章が理解できる」ではない。つまり、実際には“意味を正確に読み取る力”が大きく不足しており、特に教科書や説明書など「事実を淡々と述べた短文」を読み解く基礎力が弱くなっていることを著書『AIに負けない子どもを育てる』で提言していました。今では読解力を高めるために、音読と視写を中心としたトレーニングを開発し、教育現場で実践しています。音読と視写を重視した教育と言えば平安時代末期から始まった寺小屋での教育方法です。読むこと(音読)、書くこと(視写)、そして意味を理解すること(読解)で言葉の力を身に付け、読解力を高めていました。

また、新井先生は「AIと人間の一番の違いは、AIは身体をもっておらず、すべてを抽象的なデータから学んでいることです。ですから自分の身体や五感を使い、体験を通して体得した知恵は、人間ならではの最大の武器」とも言っています。つまり、主体性やコミュニケーション能力、共感性や倫理観といった非認知能力の重要性を指摘していました。

今、AIがすぐに答えを出すのではなく、子供が考える過程を支援するよう設計された実装が必要であり、「初等中等教育段階における生成AIの利用に関するガイドライン」も見直す動きもあるようです。スーパー認知能力者とも言えるAIの時代だからこそ、読解力と非認知能力を向上させることが大切であり、本校でも引き続き高めていき人生を豊かにしてくれることを期待しています。

みんなが先生

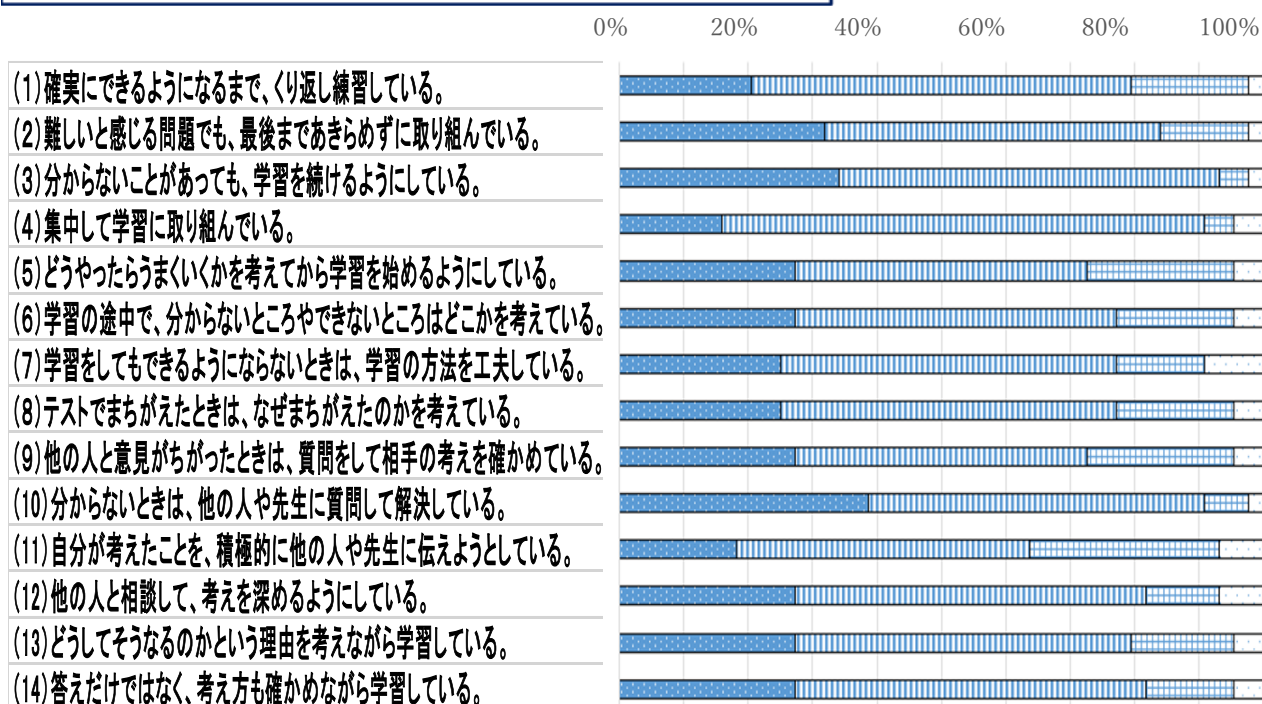
7月7日（火）に本校体育館にて「みんなが先生」の取組を実施しました。この取組は進路学習の一環として、地域の方を講師に招き、現在の仕事についてや、その仕事に就くまでの経緯などを聞き、生徒が将来への見通しをもち、自分の生き方を見つめる機会とするものです。

今回は、株式会社大島備長の平井雄之さんを講師にお招きし、ご講演いただきました。備長炭のお話だけでなく、SDGs や学習の大切さについてなど、興味深いお話をたくさん聞くことができました。特に「勉強したことが自分を助ける」「知識が増え、つながっていくと面白くなる」といった実体験に基づいたお話しには説得力があり、生徒にとっても今後の生き方について考えるきっかけにもなりました。

保護者や地域の方が中心となって企画・進行していただき、学校と家庭・地域の人々と連携を図り、地域に開かれた学校づくりを推進することができました。



授業評価アンケート（前期）



■ 4. 当てはまる □ 3. どちらかといえば当てはまる ▣ 2. どちらかといえば当てはまらない □ 1. 当てはまらない

1 学期の終わりに生徒による授業評価アンケートを実施しました。このアンケートは、教師が生徒とともに授業をより良くしていくことを目指して年2回実施するものです。生徒一人一人が日常の授業を振り返って自らの学び方について回答した結果を学校全体でまとめたものです。

アンケート結果を見ると、全体的に肯定的な評価が多いですが、今後も生徒が自ら学びに向かって取り組んでいける力を身につけさせるため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、一人一人にとってよりよい授業を行うように研鑽を積んでいきます。

生徒会レク

生徒会主催のレクリエーションとして「学年対抗リレー」と「校内かくれんぼ」が開催されました。学年対抗リレーでは、各学年のプライドをかけた大接戦が繰り広げられ、今回は先生方も参戦し、会場は大盛り上がりとなりました。抜きつ抜かれつの大激戦を制し、見事トップでゴールを駆け抜けたのは3年生でした。最高学年としての意地と素晴らしいチームワークを見せてくれました。

続く校内かくれんぼでは、生徒が教室の死角や物陰に上手く身を隠し、ハラハラドキドキの心理戦が展開されました。見つかり、捕まってしまった後も、ミッションとして用意された「クイズ」に全員が楽しそうに、そして真剣に挑戦していました。学年や先生方との垣根を越えた親睦が深められ、学校全体がたくさんの笑顔に包まれた素晴らしい一日となりました。（生徒会担当）



島しょ大会・都大会に向けて

夏季休業に入るとすぐに運動部では島しょ大会、都大会が行われます。各部とも練習の成果を発揮し、大島代表としての自覚をもって最後まで諦めずにプレーしてきてほしいと思います。

各部の大会への意気込みを掲載いたします。

サッカー部

3年生にとって現チームで臨める最後の大会です。応援して下さる方たちの思いも背負い、自分たちらしいプレーをしてきます。島しょ大会に勝ち、都大会出場を果たします。

バレーボール部

今までの練習の成果を存分に発揮し、日々応援して下さっている方々の気持ちにこたえて勝ち進みたいと思います。3年間の集大成として悔いの残らないように頑張ります。

ソフトテニス部

都大会への多くの切符を手にし、大島代表として全力を尽くします。プレーだけでなく、マナーでも代表に恥じない行動をして最後の都大会で悔いが残らないように頑張ります。

野球部

支えてくださる方々への感謝を忘れず、一戦一戦を全力で戦います。チーム全員で力を合わせ、最後まであきらめずにベストを尽くすので、応援よろしくお願いします。

柔道部

予選では3位でしたが、都大会ではさらに上を目指し、関東大会に出場したいです。自分のペースで試合をして、自分らしい柔道ができるように頑張ります。

9月の行事予定

学校教育目標： のびやかで、あたたかい心
深く考え、自ら学ぶ力
健やかな身体とたくましい体力

日	曜	行事	給食	日	曜	行事	給食
1	火	始業式 避難訓練 職員会議		16	水	ALT	◎
2	水	身体計測	◎	17	木		◎
3	木	ALT	◎	18	金	SC 激励会	◎
4	金	SC 激励会	◎	19	土		
5	土	中体連秋季大会		20	日	『敬老会』	
6	日	(予備日)		21	月	敬老の日	
7	月	結団式	◎	22	火	国民の休日	
8	火		◎	23	水	秋分の日	
9	水	ALT	◎	24	木	SC 安全指導	◎
10	木	SC	◎	25	金		◎
11	金	生徒会役員選挙	◎	26	土	P T A草刈り	
12	土			27	日		
13	日			28	月		◎
14	月	運動会特別時程(始) 朝礼	◎	29	火		◎
15	火		◎	30	水	ALT	◎

生徒会役員選挙

9月11日(金)に本校体育館にて生徒会役員選挙が行われます。「生徒会」とは、生徒の力で学校をより良くするために考え行動する、自治活動です。その代表生徒を選ぶ選挙として、7月から選挙管理委員会を中心に準備してきました。一人一人が生徒会員という自覚をもち、選挙に臨みましょう。

PTA合同役員会

9月17日(木)18時半より二中体育館にてPTA合同役員会を行います。小中合同運動会に向けて、役員の皆様で前日までの準備や当日の動きを確認していきます。
また、26日(土)には校庭の草刈りを計画していますので、合わせてご連絡いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

* 8月10～14日までは学校閉庁日となります。連絡は大島町教育委員会(2-1453)までお願いします。

熱中症の予防について

夏季休業期間には水泳練習、運動会練習など、多くの活動で熱中症のリスクが高まります。予防として、多量の発汗によって脱水症状を引き起こさないためにも水分補給が欠かせません。水筒は必ず持参するようにしてください。また、水筒の中身は冷たい水かお茶、スポーツドリンク等を入れてください。ただし、ステンレス製の水筒にスポーツドリンクを入れると、ステンレスが塩分と反応してさびてしまい、それを口にすることで体調を壊す事例も発生していますので、ご家庭でもご注意ください。

